

令和5年度 森林環境譲与税の使途公表

令和5年度 森林環境譲与税収入額 12,210,000円

| 都道府県名 | 市町村名 | 事業区分 | 事業名 | 事業総額（円） | | | 事業内容 | 税導入の効果 |
|-------|------|------------------|-------------------------------------|---------|--------------------|-----------|---|---|
| | | | | (A)+(B) | (A)うち令和5年度の森林環境譲与税 | (B)うち他の財源 | | |
| 徳島県 | 牟岐町 | ① 意向調査の準備作業 | とくしま南部地域森林管理システム推進協議会負担金（森林境界明確化事業） | 1,235 | 1,235 | | 徳島県・阿南市・那賀町・美波町・牟岐町・海陽町・徳島森林づくり推進機構を構成員とした、「とくしま南部地域森林管理システム推進協議会」に負担金を払い、協議会が主体となって森林境界の明確化事業を行った。（明確化事業：河内地区16ha） | <p>【ワンフリーズ】 森林経営管理制度の周知活動や意向調査によって、森林管理の意向などを把握することができ、円滑な管理システム実施へとつながった。今後も引き続き、意向調査とその集約等を行い、森林整備を推進する。また、林業担い手対策では、高度な技術を有する林業技術者の育成の支援をすることで、町内の林業振興・発展へと寄与。そのほか、イベント等を通して地元木材の利用促進を図った。</p> <p>【詳細】 「とくしま南部地域システム推進協議会」にて意向調査等の事業を実施。 ・意向調査は、R1～R4に意向調査を実施し、回答のあった374件へ調査結果と事業報告を送付。 ・森林整備事業として間伐を5.03ha実施。 ・河内地区において、森林境界明確化16haを行った。</p> <p>木材利用及び普及啓発として、徳島大学の学生らが地元の木工職人と共に遊具や看板などを作製、船戸荘をの改修を実施。 ・船戸荘の外壁は、県産材である杉材を使用し、牟岐町の千年サンゴをモチーフにしたデザインに。 ・牟岐保育園に寄贈した室内遊具には、香りがいい桧材を使用し、木を感じれる工夫をした。 ・南阿波サンラインに「モラスコムぎ」「牟岐少年自然の家」の案内看板を作製・設置。</p> |
| 徳島県 | 牟岐町 | ② 意向調査 | とくしま南部地域システム推進協議会負担金（協議会運営事業） | 1,295 | 1,295 | | 協議会が主体となり、意向調査を実施。調査結果を送付した。 | |
| 徳島県 | 牟岐町 | ③ 私有林整備 | とくしま南部地域システム推進協議会負担金（森林整備事業） | 1,400 | 1,400 | | 協議会が主体となり、間伐を実施した。（森林整備事業：辺川・河内・橋地区5.03ha） | |
| 徳島県 | 牟岐町 | ⑫ その他（人材育成等） | 牟岐町森林整備担い手対策支援事業 | 1,142 | 1,142 | | 林業新規就労者を雇用する事業体への補助金 | |
| 徳島県 | 牟岐町 | ⑮ その他（木材・普及啓発関係） | 木材利用促進・林業普及啓発事業 | 150 | 150 | | 樺木林業や炭焼き体験などを通じ、林業や木材利用に対する普及啓発、後継者の育成を行う。 | |
| 徳島県 | 牟岐町 | ⑮ その他（木材・普及啓発関係） | 木材利用促進・林業普及啓発事業 | 1,981 | 1,981 | | 徳島大学建築サークルAUT・かいふの木の家の幅広い連携による人工林材を活用した船戸荘の改修等地産地消を体感できるイベントを企画し、県産材の木材利用を促進。 | |
| 徳島県 | 牟岐町 | ⑮ その他（木材・普及啓発関係） | 出羽島段々畑はしご作製 | 242 | 242 | | 出羽島の段々畑にはしご（階段）を作製。 | |
| 徳島県 | 牟岐町 | ⑬ 木造公共建築物の整備等 | モラスコムぎシャワー室及びウッドデッキ修繕 | 3,500 | 3,500 | | 町関連施設における修繕に係る費用。 | |
| 徳島県 | 牟岐町 | ⑲ 基金積立（木材利用等） | 森林・林業活性化基金 | 1,265 | 1,265 | | 残金は、次年度以降の森林整備事業等に活用したり、新庁舎建設時に町産材を使った備品等を作製するため、森林・林業活性化基金に積み立てた。 | |